

令和4年度緑と森づくり支援事業研修会

緑のふるさとづくりセミナー

入場
無料

(定員100名)

日時 2023年2月24日(金) 13時30分～15時30分

会場 山形ビッグウイング 4F 中会議室

第1部 【講演】野生動物との求められる関係性

13:35～
14:50

たぐち ひろみ
講師 田口 洋美 氏 (東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科 教授)

第2部 緑のふるさとづくり事例紹介

15:00～
15:20

○緑の環境づくり推進事業 美しい山形・最上川フォーラムの取り組み
○郷土の名木・古木等保全事業 乳銀杏(鶴岡市指定天然記念物)

第3部 助成事業ガイダンス

15:20～
15:30

○緑の環境づくり推進事業 ○郷土の名木・古木等保全事業 ほか

新型コロナウイルス感染症の
予防のため右記の内容に
ご協力をお願いします。



手指の消毒



人数制限



換気の徹底



身体的距離の確保



マスクの着用



検温の実施

裏面の参加申込書にてお申し込みください

主催：公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構

後援：山形県、山形新聞・山形放送、(一社)やまがた樹木医会、山形県森林インストラクター会、
美しい山形・最上川フォーラム

お問合せ(電話)
023-688-6633

緑のふるさとづくりセミナー 参加申込書

FAX:023-688-6634
メール:gcenter@jan.ne.jp

FAXまたはメールでお申し込みください

〆切:2月21日(火)

※先着順、定員100名

団体名:			
参加者氏名	参加区分 ※部分参加も可	年齢層	緊急連絡先 ※必須
	第1部・第2部・第3部	～30代・40～50代・60代～	— —
	第1部・第2部・第3部	～30代・40～50代・60代～	— —
	第1部・第2部・第3部	～30代・40～50代・60代～	— —
	第1部・第2部・第3部	～30代・40～50代・60代～	— —
	第1部・第2部・第3部	～30代・40～50代・60代～	— —

※個人情報とは当セミナーに関する事以外には使用しません。

～講師紹介～



たぐち ひろみ
田口 洋美 氏

東北芸術工科大学
芸術学部歴史遺産学科
教授

【プロフィール】

1957(昭和32)年、茨城県生まれ。民族ドキュメンタリー映画製作を志すが、新潟県岩船郡朝日村三面集落の記録映画製作に参加したのをきっかけに狩猟文化研究者となり、民俗学者宮本常一を師事、宮本が所長を務めていた日本観光文化研究所に入所。以降、東日本を中心に山間集落と海浜集落、離島を歩く。1990(平成2)年、静岡県駿東郡小山町の町史編纂専門委員会民俗部会専門委員(嘱託)。1995(平成7)年、神奈川県丹沢山地のニホンジカ問題と出会い野生動物保護管理学を知る。また同時期に東京大学文学部考古学研究室を中心とした民族考古学分野のプロジェクトの一員としてロシア先住民調査に参加。以降、狩猟文化研究を基礎とした野生動物保護管理に関わる。専攻は民俗学、地理学、人類学を基礎とした環境学、民族考古学、映像人類学、野生動物保護管理学。博士(環境学)。研究の中心は狩猟採集民研究。

【社会貢献】

山形県特定鳥獣保護管理検討会委員、福島県特定鳥獣保護管理委員会委員(座長)、秋田県野生鳥獣保護管理対策検討会委員、秋田県野生鳥獣管理共生ビジョン策定協議会(委員長)、環境省・林野庁白神山地世界遺産地域科学委員会委員、農林水産省農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー

【著作】

著書に『小国マタギ 共生の民俗知』,2004,農山漁村文化協会。『日本のクマーヒグマとツキノワグマの生物学』,2011,東京大学出版会。『クマ問題を考える:野生動物生息域拡大期のリテラシー』,2017,山と溪谷社(ヤマケイ新書)など多数がある。

～会場案内～

山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」
4F 中会議室

住所:山形市平久保100番地
☎:023-635-3100

<アクセスについて>

お車:山形道山形北ICより 約5分(無料駐車場あり)
バス:山形駅より県立中央病院行 約20分
鉄道:JR奥羽本線羽前千歳駅より 徒歩約15分